

高洲第一小学校・高洲第二小学校の保護者の意見・要望に対する回答

1

○できるだけ早い統合を希望する。平成22年4月に開校でもよいのではないか。

○高洲二小で本当に統合が求められるのは、17名しかいない現5年生なのに、開校までに2年間も協議する必要があるのか。

統合時期が早くても平成23年4月であるとした理由は、花島小学校開校の事例をもとにしています。花島小学校は、平成17年5月に「統合に関しての要望書」を教育委員会へ提出し、7月には「統合準備会」を発足し、翌年の平成18年4月に将来跡施設となる旧花見川第五小学校の校舎を使用して開校しました。当時の教職員に聞き取り調査を行ったところ、「開校準備に半年余りしかなく、あわただしかった。」「最後の学校行事を余裕をもって取り組みたかった。」との声があり、教育委員会としても重く受け止めています。したがって、最低1年間の準備期間が必要であると考えています。

高洲第一小学校と高洲第二小学校の場合、もし9月頃までに「統合に関しての要望書」を教育委員会へ提出すれば、今年度中に「統合準備会」を発足し、開校準備期間に1年半をかけることができるでしょう。

「統合準備会」は両校の校長・教頭・教務主任、保護者会会長・副会長等、学校評議員等、教育委員会関係各課職員により構成され、統合までの具体的なスケジュールや新設校の教育内容等、教育環境整備・安全対策、交流事業、記念行事、新入生への配慮、閉校式・開校式、跡地利用などについて検討し、統合前のそれぞれの学校の良い点をうまく残せるよう話し合っていきます。

特に、交流事業は両校の子どもたちが様々な行事等をとおしてお互いを知るための重要な事業です。両校の先生方が共同で企画して、現5年生が6年生になる平成22年度を中心に行い、平成23年4月の新設校開校に向けてスムーズな移行を図るものです。その意味で、平成22年度に両校のリーダーとなる現5年生にとっても、新たな仲間との出会いが生まれるものと期待しています。

2

○統合に向け、授業や学校のルール等のすり合わせを今からしてほしい。

校長先生を中心に、両校の教職員が十分時間をかけてすり合わせをし、「統合準備会」の中で、適時報告していただきます。

3

○統合校名に「高洲」の文字を入れてほしい。

校名は公募等も取り入れながら、検討します。

4

○統合時期と場所については理解できた。高洲第二小にはタイムカプセルを埋めてあるが、どうなるのか。

統合準備会の中で、タイムカプセルの扱いについても検討事項としていただきます。

5

○通学路の信号を歩車分離にしてほしい。

「統合準備会」の中で、安全対策についても検討し、必要に応じて施設面での安全対策について関係機関に要望していきます。

6

○改修工事の具体的なスケジュールをできるだけ早めに教えてほしい。

○統合は賛成だが、子どもたちが少しでも新しい校舎で過ごせる時間があるとよい。

花島小学校の事例では、平成18年4月に将来跡施設となる旧花見川第五小学校を仮校舎として開校し、平成18年度から19年度の2年間で、統合場所となる旧花見川第四小学校の改修工事を行い、平成20年4月から改修校舎の使用を開始しました。（1年目は設計と体育館の改修、2年目は校舎の耐震化と大規模改修工事を行いました。）

高洲第一小学校と高洲第二小学校の場合も、大規模な改修になりますので、仮設校舎を建てて工事の騒音等環境の悪い中で過ごすよりも、工事中は高洲第二小学校を仮校舎として利用いただく方がよいものと考えます。

工事期間については、改修する校舎等の状況により異なりますが、できるだけ早く子どもたちが使用できるよう進めていきたいと考えています。

7

○高洲第二小をそのままの形で残して、地域で活用できるようにしてほしい。

○跡施設の体育館はサークル活動等のために残してほしい。

高洲第二小学校の跡施設利用については今後、保護者や地元の要望を吸い上げて「地元代表協議会」の中で取りまとめ、「跡施設利用の要望書」として別途教育委員会に提出いただくことになっています。

8

○現在、高洲第二小では希望するクラブに入れないので、人気のあるクラブの定員を増やし、第1希望のクラブに入れるようにしてほしい。

高洲第一小学校と高洲第二小学校を統合すれば、子どもたちと教職員の数も増えますので、ニーズに応じたクラブ活動の開設も見込まれます。

9

○見守りという点では、高洲第一小も高洲第二小も違いはない。高洲第一小の位置に特別支援学級が移動すると、高浜地区から通う子供には不便である。特別支援学級に通う子どもたちへの配慮を十分にしてほしい。高浜地区に特別支援学級の設置を考えるべきである。

高洲第一小学校と高洲第二小学校は、学校の形状、校庭・校地面積等ほとんど差がありません。「地元代表協議会」の協議の中で、統合場所を高洲第一小学校の位置とした一番の理由は、高洲第一小学校を統合場所とすれば、高洲の各ブロックにバランスよく学校が配置できるということでした。学校は地域の防災拠点（避難所）・活動拠点等にもなっており、バランスよく地域に配置されることが望ましく、仮に高洲第二小学校を跡施設としても、すぐ近くに高洲第一中学校があることから、統合場所を高洲第一小学校の位置としたものです。

特別支援学級に通う子どもたちについては、教育委員会としても十分な配慮をしていきたいと考えています。また、高浜地区の小学校に特別支援学級を設置することについても検討していきたいと考えています。なお、中学校については、今年度高浜中学校に特別支援学級を設置いたしました。

10

この意見・要望は保護者にフィードバックされるのか。

ご意見・ご要望に対する回答は、今後とも保護者の皆様へフィードバックしていきたいと考えています。